

学校教育目標

- 1 丈夫で明るくはきはきした子ども
- 2 よく考え進んで工夫する子ども
- 3 みんな仲良く きまりを守り 責任感の強い子ども。
- 4 ものを大切にし感謝の心をもつ子ども
- 5 進んでみんなのために働く子ども



第1号
海老名市立東柏ケ谷小学校
電話 (046)232-3716
平成27年4月14日(火)発行
ホームページ
<http://www.touhakusyo.edu.city.ebina.kanagawa.jp/>

一期一会

〈あいさつ〉

平成27年度の学校生活が始まりました。始業式、入学式の日、正門で毎日子ども達を見つめる桜の木は、今年度も元気に登校する子ども達を迎えてくれました。花壇には、色とりどりの花が咲き誇り生命の息吹が感じられます。子どもも大人も、これから始まる学校生活や社会生活に期待や希望をもち、新たな一歩を踏み出す4月となりました。

ところで、春と言えば桜。ある新聞の記事のなかに、どうして学校には桜の木が多いのかという内容のものがありません。国文学者の小川和佑氏の説を要約すると次のようになります。桜は「もともと、美や平和、豊かさの象徴」「奈良時代から家の角に桜を植え、悪霊を寄せ付けない結界とした」「明治になって小学校の校庭に桜を植えたのも、同様に聖域を示す意味から」とのことです。

7日には目を輝かせたピカピカの一年生、75名を迎え、多くの方々に祝福されての心温まる入学式を行うことができました。

それぞれの子どもたちも進級した喜びを胸に、全校児童551名の「東柏っ子」が新たに目標を抱き、精一杯がんばっていかうと胸を弾ませています。

昨年に引き続き、東柏ケ谷小学校にお世話になります多久島勲です。どうぞよろしくお願いいたします。

〈一週間〉

新しい学級、新しい先生、新しい友だちとの生活も1週間あまりが過ぎようとしています。お子さまの様子はいかがでしょうか。学校での毎日の生活や学習のことについて目を輝かせて話してくれたらうれしいと思います。校長室の窓越しに毎日子どもたちが友だちと連れ立ってワイワイ話しながら元気に下校する姿を目にします。「明日も学校へ行くのが楽しみだな」「早く学校へ行って友だちや先生と話がしたいな」「明日の〇〇の勉強早くしたいな」こんな思いをすべての子どもが持てる学校を目指していきたいと思っています。

そのために職員一丸となって子どもたちの健やかな成長のために誠心誠意、職責を果たすつもりです。しかしなんと言っても教育の根本は家庭における教育です。「早寝・早起き・朝ごはん・テレビを消して外遊び」など家庭教育で果たさなければならない役割についても十分ご理解をいただき、学校、家庭がお互いの役割を果たした上でパートナーとして連携を図っていききたいと思ひます。ご家庭と学校とが心をつなげて信頼しあうことがお子様の教育にとって何よりも大切なことでもあります。どうかよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

〈入学式の話〉

入学式の日には新1年生に4つのことを話しました。学校生活「あ・い・う・え・お」です。

「あ」はあいつさつの「あ」です。「おはようございます。」「いってきます。」「ありがとうございます。」などのあいさつと「はい」という返事ができるようになる「あ」です。

「い」は一生懸命するという「い」です。色々な勉強を先生方は用意しているので楽しみにしてください。

「う」は運動の「う」、元気に運動をして体を鍛える「う」です。元気な体をつくりましょう。

「え」は笑顔の「え」です。にこにこ笑顔いっぱい学級・学校にしましょう。ときには悔しいことや悲しいこともあるでしょう。



そうしたことを笑顔で乗り越えてほしいと思います。

「お」はお友だちの「お」です。東柏ヶ谷小学校の一年生は75人です。たくさんのお友だちがいますね。お友だちをたくさんつくって、仲良く勉強したり、遊んだりしましょう。

入学式での話は、どの学年の児童にとっても学校生活の基本であると思いますし、家庭や社会生活を営む上でも大切なことだと思います。基本的な生活習慣として小学校だからこそしっかりと身に着けていきたいことです。この基本がしっかりしてこそ「学ぶ意欲に満ちた思いやりのある人間」に育っていくのではないのでしょうか。

全校職員そして全校児童がめざしていく「学校教育目標」（次の号で紹介します）が上部に示してあります。この学校教育目標が達成できるように毎日の授業や教育活動の中で各学年の発達段階に応じて子どもたち一人ひとりのもっている可能性を最大限に伸ばしていきたいと考えています。このことには、保護者・地域の皆様、学校の三者の連携をより一層進め、「地域に根ざした学校」づくりを進めて参ります。そして、「笑顔あふれる気持ちのよい学校」を共に目指していきたいと思っています。

〈入学式の話2〉〈子どもは地域の宝〉

入学式の日、ご来賓の皆様が次のようなことを話させていただきました。

「高いところではございますが、子どもたちが「しわあせ」に生きるためには、学校教育と社会教育が両輪となり、ひびきあうことが大切と考えます。「子どもは地域の宝」と申します。家庭・学校・地域が連携・協力しながら子どもたちの健全育成にお力添えをいただけたら幸いです。」

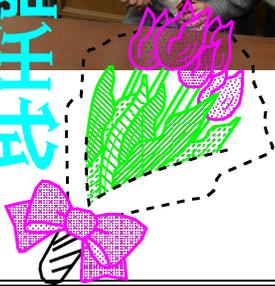
子どもがよりよく成長できるよう、ご家庭と学校が心をつなげて信頼しあっていくことがお子様の教育にとって何よりも大切なことでもあります。どうかよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

どうぞ地域の方々には今後とも様々なご支援ご協力をいただきたいと思います。

校長 多久島 勲



離任式



濱田 伸子教頭 → 門沢橋小学校
黒田 弘美教諭 → 上星小学校
蔵持 倫恵教諭 → 柏ヶ谷小学校
奥平 直子教諭 → 柏ヶ谷小学校

へご栄転されました。本校でのご尽力に深く感謝します。ご健康に留意されご活躍を祈っております。



着任式

秋山 範子教頭 ← 門沢橋小学校
齋藤 さち子教諭 ← 海老名小学校
杉山 飛鳥教諭 ← 今泉小学校
小澤 璃愛教諭（新採用）
藤本 彩果教諭（新任）
松山健太郎教諭（新任）
また、たんぼぼ級の介助員に豊田陽子教諭、川上宗一郎教諭が着任しました。

また、学校訪問相談は三本木泰代相談員が毎週金曜日にご相談を承ります。相談がある場合は学校まで連絡をお願いします。東柏ヶ谷小学校 教育相談コーディネーター 岩上克成まで。

